

東日本大震災復興祈願祭 神棚拝詞（例文） 令和三年三月十一日

此の神床に坐す 掛けまくも畏き大神等を拝み奉りて恐み恐み
も白さく

今日はしも平成二十三年弥生十一日未刻に起こりし東日本大震災
より十年の忘れ得ぬ日に成りぬれば 復興を乞祈奉る状を 平らけ
く安らけく聞食し諾ひ給ひて 進み行く復興の途は天津日の輝き
渡る大空の如く澄み渡り 諸人等は心穏ひに身健かに 郷々の
御祭を厳しく美しく仕奉らしめ給ひ 東北地方を始め日本を永久
に安国と守り恵み幸へ給へと恐み恐みも白す

【大意】

この神棚にいらつしやいます神様たちに謹んで申し上げます。

今日は平成二十三年三月十一日未刻（午後一時から三時）に発生し
た東日本大震災から十年という忘れることのできない日にあたり、
復興の願いをお聞き届け下さいまして、被災地の人々が心安らか
に健康で、地域のおまつりも厳粛かつ賑やかに行うことができるよ
うになり、東北地方をはじめ日本中が永久に平穏な国であるように
お守りください。